

平成31年度 北海道大学大学院  
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 一般入試</li><li>■ 外国人留学生特別入試</li><li>■ 社会人特別入試（後期のみ）</li></ul>
試験科目名	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 専門試験（ 映像・現代文化論研究室 ）</li><li>□ 共通外国語（ ）</li></ul>
出題の意図	<p>問題Ⅰ 映像・現代文化、日本近現代文学・思想に関する基本的な知識を問う。</p> <p>問題Ⅱ 映像・現代文化、または日本近現代文学・思想に関する論文を読解し、自分の意見を論述することにより、専門分野に対する理解力と表現力を問う。</p> <p>(A) 女形に関わる近代文学上の言説から、ジェンダーの視覚性を問う 問題</p> <p>(B) 現代のハリウッド映画を端緒にした、「映像を見ること」における不確定性についての問題</p>

平成31年度  
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）  
（専門試験） 映像・現代文化論 全7枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 7枚、解答用紙 4枚を配付する。

- ・ 解答は問題Ⅰと問題Ⅱについて、別々の解答用紙に記入すること。
  - ・ 問題Ⅱは、A・Bの中から一つを選んで解答すること。
- 

問題Ⅰ

次の1～6の中から二つを選択し、選択番号を明記した上で解答しなさい（各400字程度）。

1. 自由民権運動と女性文学の関係について述べよ。
2. 日本近代文学史における新感覚派の意義について、作家・作品名を挙げて論じよ。
3. GHQの検閲が文学に及ぼした影響について概説せよ。
4. エスタブリッシング・ショットが果たす役割について論じよ。
5. 小津安二郎作品の画面の特徴について述べよ。
6. つげ義春作品はマンガ史のなかで何を更新したのか説明せよ。

問題Ⅱ A

この文章は、光石亜由美『自然主義文学とセクシュアリティ——田山花袋と〈性欲〉に感傷する時代』（世織書房、2017年）の一節である（設問の都合で省略した箇所がある）。（1）この文章を要約しなさい（250字程度）。（2）ジェンダーの構築をめぐる「技巧」について、日本近代文学史に即して、考えを述べなさい（800字程度）。

\* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 光石亜由美『自然主義文学とセクシュアリティ——田山花袋と〈性欲〉に感傷する時代』（世織書房、2017年3月、270～275頁）





\* 問題Ⅱ B

- \* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 鈴木繁「監視社会の夢遊病患者たち」(塚田幸光編『映画とテクノロジー』ミネルヴァ書房、2015年4月、18～23頁)



